

移動学習で「勝沼ぶどうまつり」へ

10月4日(土)7時前より寺田縄各地域をバスにて回って、参加される25人を集客し25人乗りのバスは空席のない状態となりました。

寺田縄上空の空模様は、何となく台風が近づいているかのような厚い雲に覆われてちょっぴり不安もありましたが、東名高速、東富士五湖道路、中央自動車道の新笹子トンネルを抜けた途端に青空と暑い太陽が降り注ぎ、ほっと一安心となりました。

「勝沼ぶどうまつり」の会場である勝沼中央公園に着いたときは、木陰を探して休憩場所を確保して、それぞれが思い思いの行動となりました。

ワイングラスを買い求めて出店している山梨を代表する23社のワインメーカーを試飲して歩く人、無料の振る舞いワインでご機嫌になったり、焼きそばやおつまみで昼食を済ませたり、甲州ブドウの無料配布の長蛇の列に並んで2房をゲットした人等々、2時間30分程度の時間ではありましたが楽しく過ごすことができました。



午後からはブドウ園に立ち寄り、試食やぶどうの買い物をし、更にシャトー勝沼で工場見学やワインの試飲と買い物そしてミニボトルワインを頂き、次なるお土産を求めて皆様お馴染みの「笹一酒造」に寄って、それぞれがお土産の最終仕上げ購入をして、ミニボトルの日本酒を頂戴して最後の見学場所である「山梨県立リニア見学センター」へと向かいました。

50年に渡るリニア開発で時速500Km/hの世界を体感できる「山梨県立リニア見学センター」は、山梨リニア実験線の走行試験を間近で見学できる日本唯一の施設であります。不定期な走行試験でなかなかタイミングも難しいとのことですが、私たちが見学中に3度も東京方面への走行を確認することができました。しかし、カメラのシャッターを切っても車両を捉えるのは困難で線路のみが写っているという驚きの声が周囲からも聞こえてきました。その他見学センター内では、世界最速記録581Km/hを樹立した実車両のシンボル展示、リニアと未来の山梨のジオラマや浮上走行が模擬体験できる装置など展示満載です。杖をついてでも車椅子に乗ってでも開業試乗ができますよう頑張ることを誓い見学センターを後にしました。



帰り道は初めて通る人や、何遍も通った方もおられましたが、時間的、経済的メリットを考慮して、圏央道を通ってみようということで、中央自動車道から八王子経由圏央道で厚木に帰ってきましたが、混雑もなく快適なドライブを楽しむことができました。

(寺田縄長寿会 坪井正男)